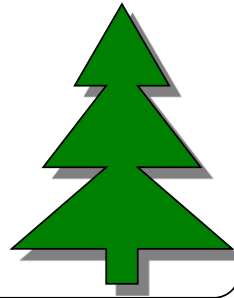


# 機殿まちづくりだより



機殿まちづくり協議会会報

第26号

発行：2016, 1, 1

機殿まちづくり広報委員会

松阪市六根町

TEL：0598-59-0351

## 新しい年を迎えるにあたり

まちづくり会長

澤村 茂

新しい年を迎えるにあたり、一言ご挨拶申し上げます



旧年中は、役員さんを始め地域の皆様のご協力とご理解によりまして、活動を全うすることができました。皆様の御協力ありがとうございました。特に、長年検討してまいりました「地域計画」が完成いたしましたことを、大変嬉しく思っています。これからの機殿地域の活動の指針となるものとして大事にしていきたいと思えます。計画が単なる計画に終わることなく、実行に向けて活動を強化していきたいものです。

多くの地域が抱えるように、機殿も高齢化率が高くなっています。ただ街場と異なり、現役で働いておられる方が多いことは機殿の強みと考えます。活動の中心で活躍しておられる方ばかりです。それだけに、健康対策や福祉対策という文字が多くなりますが、年寄りや子供が生き生きと楽しく生活できる地域は、全ての方が楽しく過ごせる素晴らしい町ということだと理解しています。又、防災訓練にも多くの方々にご参加いただきました。機殿のように、逃げるところのない地域でどのように身を守っていくのかは大きな課題です。まずは、自分で自分を守る。



そして近くの人を助けに行く組織活動の強化です。年々意識が高まって来ていると思えます。頼もしい限りです。被害者を出さない取り組みを更に高めていく必要があると思えます。ただ世の中は、安全保障法が憲法違反と言われながらも閣議決定されたり、TPP妥結により食の安全が脅かされたりと、日本の行方が心配です。大きい少いにかかわらず、少しでも疑問に思うことには遠慮なく声に出していただき活動にもご参加いただきたいと思えます。手始めは、まちづくり活動です。若い人も、子供も、大人もみなさんの声を事務局に上げてください。そして活動に大いにご参加して下さい。

今年も、元気な皆さんの積極的な

ご参加をお願い申し上げご挨拶といたします。

# 出前講座開催報告

環境・エコ推進部会

初冬の候、いかがお過ごしでしょうか。  
平素は、当部会に御協力頂き誠に有難う御座います。  
今回11月6日(金)松阪市清掃政策課の玉置 大康様  
をセンターに迎え テーマ「3Rについて」ゴミ  
分別中心に、出前講座を開催していただきました。



3RとはReduce (リデュース：ゴミを減らす)  
Reuse (リユース：再使用)  
Recycle (リサイクル：再生)

最初に資源の消費を減らす、少なくすること  
から始めて、次に使える物は何回も繰り返し  
使い、使えなくなったら原料として再生利用  
しましょう。

日々回収されたゴミの中にまだまだ分別出来る  
資源ゴミがあります。

機殿まちづくり協議会のみなさんも、3Rに関係するもの全般何にでもトライ出来る  
ところから、少しずつ進めていきたいと思えます！ゴミはゴミではありません資源です。

機殿地区の皆様、ご協力よろしくお願い致します。

## 花のある故郷づくり

「スイセンロード」

環境・エコ推進部会

10月11日に小学生通学路に、環境・エコ推進部  
会役員にて、スイセンの球根を定植いたしました。



六根町農面道路沿いで、奥田 史郎様所有水田の法面  
と魚見町信号北側県道沿いで、中川 修次様所有水田  
の法面にスイセンの球根を各30球定植いたしました。

今は、咲いてはいませんが、1月から4月に掛けて  
美しい花を咲かせてくれる事と思えます。





# 『機殿地区防災訓練』

防災訓練事業  
安全部会  
平成27年11月15日

自然災害は、時には人の無力さを痛感させるほどの想定外の災害を起こします。  
しかし防災は、出来なくてもせめて減災は出来る。  
そのためには、訓練は、欠かせないものになって来ます。

「命ありてこそ」わが町より犠牲者を一人も出さない為にも、自助（自分が助かる事これがもっとも重要）次いで共助（共に助け合う事）が、必要となってきます。



東日本大震災直後は、次はわが地方に起るのではと、防災意識も高かったのですが、近年意識が薄れて来ている様です。今回の訓練参加者は、防災意識の高い約200名近い方で、起震車、濃煙、AEDの使い方、ガラス飛散倒壊家屋からの救出等の体験をしていただきました。皆さん予想以上の痛さや難しさの中、実際に災害があった時の恐ろしさを、痛感してみえました。

最後には、炊き出し班の訓練のおいしい豚汁も食べさせていただきました。  
風水害にしろ、震災にしろ、無いのが一番です。  
今後も大災害が起らない様にと祈りながら、今の内にしっかりと訓練を重ねていざ本番に立ち向かう事が出来る様に皆様と共に防災訓練を進めて行きたいと思います。



訓練に参加して頂いた皆様ご苦労様でした。

又、ご協力して頂いた方々に厚くお礼を申し上げます。

# 避難所開設に係る図上訓練（〈HUG〉ハグ）

研修事業  
安全部会

平成27年10月22日

阪神淡路大震災の避難所開設場所を教訓に生まれた（H）避難所（U）運営（G）ゲーム通称（〈HUG〉ハグ）避難所運営上の問題点を皆で考えて、正解という答えは、無く1回よりも2回3回と回を重ねる事に進歩していくのがはっきりと実感出来る図上訓練ゲームです。（私的な感想）昨年につき2回目となる今回はより実践的に、機殿小学校を避難所開設場所と想定して行なわれたました。参加者は、安全部会委員を中心に約20名程度の方が来て頂き研修をして頂きました。



今までに避難所へ避難しなくてはならない程の大災害がこの地方にはありませんでした。来るぞ、来るぞ、もう近いうちに東南海トラフがといわれている中、来ない今のうちに研修等を通して災害時に備えたいと思いますので今後も皆様のお力をお貸し願いたいと思います。

「まちづくりだより」に  
原稿をお寄せ下さい。

「機殿まちづくりだより」は、まちづくり協議会の活動を

地域の皆様にお知らせする広報として、年4回発行しています。  
(都合により変更する場合があります)

各部会や、協議会事業など

- ◎ これから行われる行事・事業のお知らせ(参加者募集の要領)
- ◎ 行われた行事・事業などの結果や状況の情報を、広報編集委員会までお寄せください。

機殿まちづくり協議会 広報提供資料の様式で、事務局に提出してください。

※参考資料(募集要項、チラシ等)があればいっしょに提出してください。

終了した行事の結果や状況は、写真を(デジタルカメラで撮影したデータ)提出してください。

(提出先) ・各部会の広報編集委員・機殿まちづくり協議会 広報編集委員会  
機殿地区市民センター内 TEL 59-0351